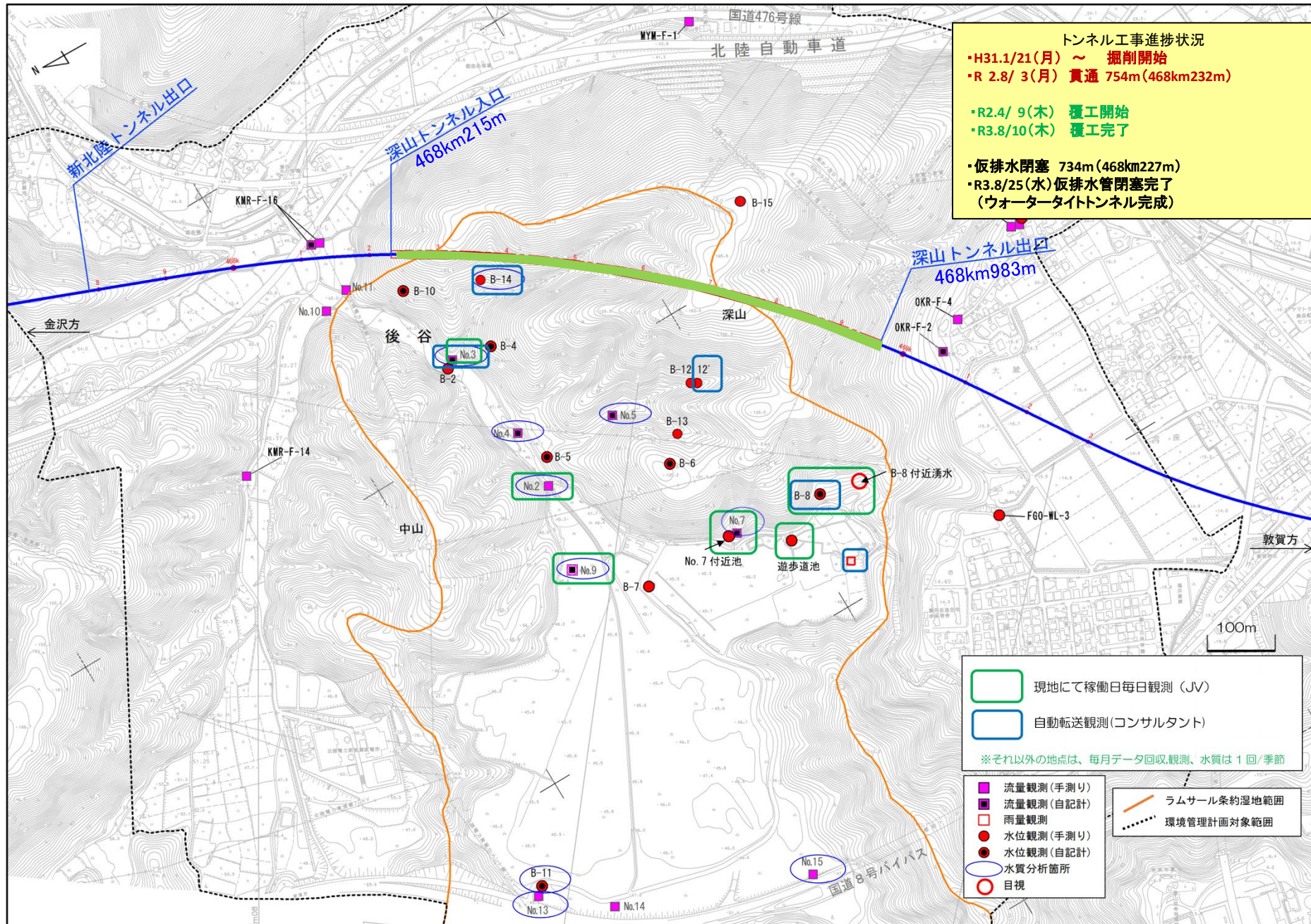


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

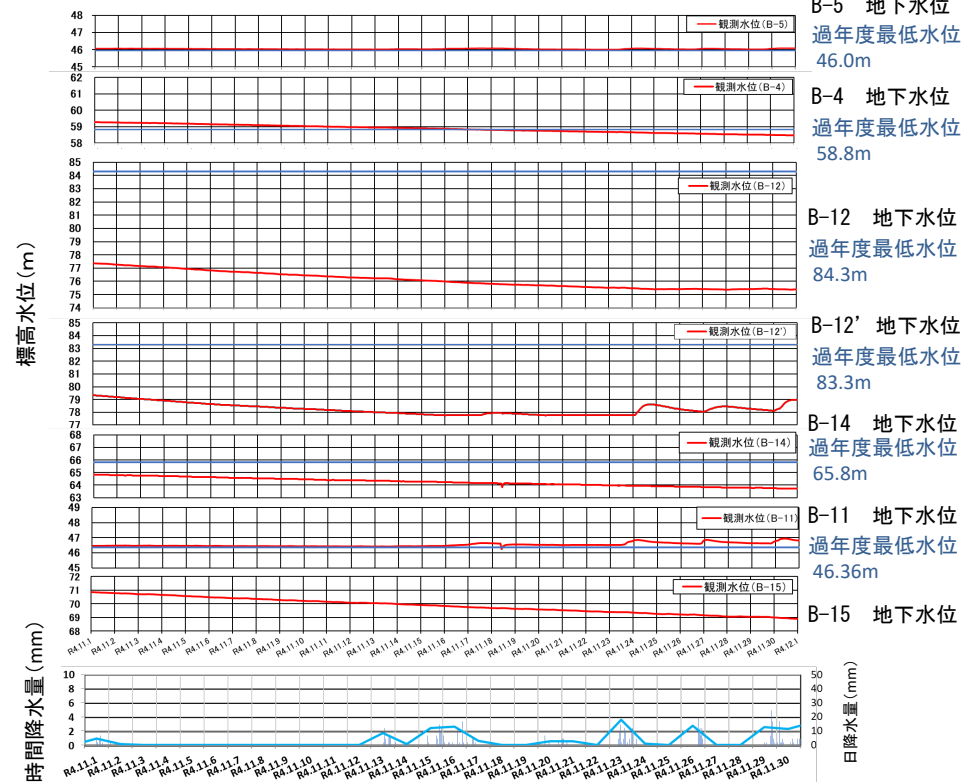
調査期間：令和4年11月1日（火）～令和4年11月30日（水）

「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。

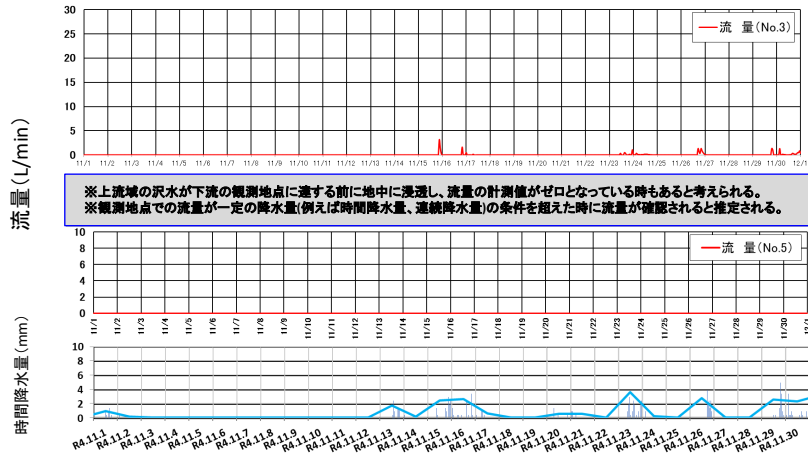


水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋 地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



※上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透し、流量の計測値がゼロとなっている時もあると考えられる。
 ※観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-11 地下水位
過年度最低水位
46.36m

B-15 地下水位

No. 3 流量

No. 5 流量

降水量

全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり
 □変動あり(注意体制への移行を検討)
 期間中の地下水位低下量
 ■1m未満ないし増加: 下記以外すべて
 ■2m: B-12, B-400 □5m未満
 期間中の流量低下量
 ■50ℓ/分未満ないし増加: すべて □50ℓ/分以上
 期間中のpH変動量
 ■0.5未満: B-8, B-12 □0.5以上 □1以上
 日降水量
 □15mm未満 ■15mm以上(1日) □50mm以上
 月降水量
 □80mm未満 ■80mm以上 □130mm以上 □200mm以上

概 要

■水位変動について

- ①目立った変動なし
- ②B-4(自記水位計): 期間中の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間を通して、緩やかな低下傾向を示す。期間後半より過年度最低水位を下回る状態が継続する。
- ③B-5(自記水位計): 期間中の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間中を概ね一定で、期間を通して過年度最低水位をわずかに上回る状態が継続する。
- ④B-12'(自動転送): 期間中の降水にわずかな反応を示す。期間始め3/4は下降傾向にあるが、23日以降の降水に反応し上昇する。ただし、過年度最低水位を下回っている状態が続く。今後も注視していく。
- ⑤B-14(自動転送): 期間中の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間を通して緩やかな低下傾向を示す。期間中は過年度最低水位を下回る状態が継続する。今後も注視していく。
- ⑥B-15(自記水位計): 期間中の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間を通して緩やかな低下傾向を示す。
- ⑦No.3(自動転送): 期間中の降雨に観測地点での流水が確認されるもその日に無くなる。期間全般、微量な流量と推測される。
- ⑧No.5(自記): 期間中は0L/minの状態が続く。
 ⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。
 ⇒観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ①11月の日最大降水量: 11/23の18.0mmである。
 ⇒10月の日最大降水量: 10/7の40.0mmである。
- ②11月の降水量: 103.5mmである。
 昨年11月は241.5mm、平年値(敦賀アメダス)は176.0mm
 ⇒10月の降水量: 119.0mmである。
 昨年10月は85.0mm、平年値(敦賀アメダス)は152.6mm